

会 議 録

会議の名称	令和7年度 本庄市社会教育委員会会議
開催日時	令和7年10月6日（月） 午前・午後 2時00分から 午前・午後 2時50分まで
開催場所	本庄市役所 503会議室
出席者	【社会教育委員】井上健治委員長、芦澤吉一副委員長、手島守委員、大塚進委員、岩崎信裕委員、木村登志男委員、都丸幸子委員、田邊晶子委員、内田英亮委員、久保田克巳委員、秋山みち子委員、田村英司委員、染井真委員、川上憲男委員 【生涯学習課】松澤課長補佐兼公民館係長、大澤課長補佐兼生涯学習係長、利根川主任
欠席者	志村弘人委員、中村幸司委員、明堂純子委員、早野清委員
議題 (次第)	1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 委員自己紹介 5 議題 （1）本庄市社会教育事業の現況について （2）令和7年度北部地区社会教育関係委員・職員研修会について 6 その他 7 閉会
配付資料	・本庄市社会教育委員名簿（資料1） ・本庄市社会教育事業の現況について（資料2） ・令和7年度北部地区社会教育関係委員・職員研修会について（資料3） ・児玉郡市社会教育委員連合会について（資料4） ・生涯学習と社会教育の概念整理（資料5） ・本庄市社会教育委員設置条例（資料6） ・本庄市社会教育委員の会議規則（資料7） ・令和6年度本庄市公民館の事業記録 ・令和7年度公民館クラブガイド ・埼玉県地域学校協働活動情報通信 COLLABO
その他特記事項	傍聴人なし
主管課	教育委員会 生涯学習課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
松澤課長補佐	開会の前に、本日の会議でございますが、本庄市社会教育委員の会議規則第3条において「会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない」とされております。本会議の委員18名のうち、本日ご出席をいただいております委員は13名となっており、半数以上となりますので、本会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。 続きまして、資料の確認をさせていただきます。「令和7年度本庄市社会教育委員会会議次第」「令和7年度本庄市社会教育委員会会議資料」その他といたしまして、「令和6年度本庄市公民館の事業記録」「令和7年度公民館クラブガイド」を本日、配布させていただきました。恐れ入りますが、資料が不足している場合はお申し出ください。よろしいでしょうか。 改めて皆様こんにちは。大変お忙しい中、社会教育委員会会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、令和7年度本庄市社会教育委員会会議を始めさせていただきます。私は、本日の司会を務めます生涯学習課課長補佐の松澤と申します。よろしくお願いいたします。お手元の次第に沿って進めさせていただきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。 なお、本庄市社会教育委員の会議規則第5条に基づき、本会議は公開といたします。同規則第6条の規定により、本会議の開催について、市ホームページで公表し、傍聴人の定員数5名としてご案内したところ、傍聴希望者はありませんでした。また、会議録作成のため、事務局にて本会議を録音させていただきます。あらかじめご了承ください。
松澤課長補佐	それでは、次第2委嘱状の交付をさせていただきます。下野戸教育長より交付いたします。 配布資料の1ページ、資料1の名簿順でお名前をお呼びいたしますので、その場でお立ちいただきまして、下野戸教育長より委嘱状の交付をお受けいただきますようお願い申し上げます。 (手島守委員、久保田克巳委員に委嘱状交付) なお、本日欠席の志村弘人委員につきましては、後日、事務局よりお渡しいたします。 それでは続きまして、下野戸教育長よりご挨拶を申し上げます。

下野戸教育長	改めましてこんにちは。本日は、公私ともにご多用なところ、令和7年度本庄市社会教育委員会議にご出席をいただき、ありがとうございます。 委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から青少年の健全育成、子育て世帯への支援、学校と保護者及び地域との連携など様々な場面でご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。また、新たに社会教育委員に就任されました皆様は、前任者の残任期間となりますが、よろしく願い申し上げます。 社会教育委員は、社会教育に関する計画の立案や教育委員会の諮問に応じて意見を述べることの他、社会教育関係団体や社会教育指導者などへも助言や指導を与えることができる、たいへん重要な役職でございます。 教育委員会といたしても、皆様のご協力により本庄市の社会教育をさらに発展、充実させていく所存でございますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう改めてお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
松澤課長補佐	ありがとうございました。続きまして、井上委員長よりご挨拶をお願いいたします。
井上委員長	早速案内を申し上げたところ、大勢の皆様の出席をいただき、誠にありがとうございます。 本日は、こういった中で会議をするわけでございますが、どうか会議の議題におきましては忌憚のない意見をいただき、会の運営がますます発展するよう、私からお願いいたします。 そしてまた、本日は、暦の上では十五夜だそうでございます。良い月が出るように私も祈っておりますので、皆さんも良い十五夜を迎えられますようよろしくお願いし、話はまとまりませんが私の挨拶に代えさせていただきます。
松澤課長補佐	ありがとうございました。続きまして、次第4でございます。今回、新たに委嘱された方がいらっしゃいますので、委員の皆様から自己紹介をいただきたいと思います。それでは名簿順で、井上委員長からお願いいたします。 (井上委員長から順番に自己紹介) ありがとうございました。事務局の職員も自己紹介をさせていただきます。 (事務局職員の自己紹介)

	なお、下野戸教育長は、この後、他に公務がございますので、退席とさせていただきますと存じます。 それでは、次第５の議題に移ります。議事進行につきましては、本庄市社会教育委員の会議規則第２条第２項の規定によりまして、委員長が会議の議長となって進めることになっております。これからの議事の進行は、井上委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
井上委員長	これより議長を務めさせていただきますが、皆様には、議事がスムーズに進行しますよう、ご協力をお願いします。 それでは、本日の議事に入ります。（１）本庄市社会教育事業の現況について事務局より説明をお願いいたします。
大澤課長補佐	（議題１ 本庄市社会教育事業の現況について、事務局より説明）
井上委員長	ただいま事務局からご説明がございました。ここで皆さんからの意見を聞いてみたいと思いますのでよろしくお願いいたします。ご意見がありましたら挙手をお願いします。
久保田委員	これまでの実績を昨年度と今年度で説明いただいて、いろいろなことをやっているなと知りました。私は民間の勤めが長かったので、お役所にこういう言い方をしてはいけないのですが、あえて使わせていただきます。最近、いろいろな説明を聞く機会があって、「何をやりました」「何件来ました」「いくら出しました」ということを聞くのですが、それってまた同じことを今年もやるわけですね。それがうまくいったのかいかなかったのか、例えば「１００やろうとして７０だった」のか、「なんとなくやって７０だった」のか。全然わかりませんよね。それがうまくいったのか、うまくいかなかったという反省、まとめがない。例えば「１００件来たら大成功です」「これは５０件だったから反省です。だから変えましょう」というようなロジックでやっていかないと先が見えないと思うわけです。 この委員会がどこまでそういう意見を言っているのかわからないのですが、非常にいろいろなところでそう感じます。少子高齢化で人口も減ってきてまして、本庄市の人口推計も１０年２０年経つと、４万７千人ぐらいだそうです。この間、本庄南中学校の説明に行ってきたので、私が住んでいるところは人口が増えていて維持ができるのですが、線路のこちらですね、小学校の統廃合とかなかなか厳しい状況になっている。そういったトレンドとか時間軸も合わせて、それは５年後１０年後にどういう方向にいきそうだから、今年はどうだから来年はこうだね。こういうロジックが必要なのだと思うのです。そういうまとめ方はなかなか難しいと思いますが、そうであればいいなと思いました。

大澤課長補佐	ありがとうございました。確かにこの資料だと昨年の内容を説明するだけなので、それがどうかというところは出ていません。新たな取組などについてはご説明の中でお話しさせていただいたのですが、全体的に実績だけを挙げ、それがどうだったのかというところまでは、作られている資料ではございません。いただいたご意見を参考に、次回は改善させていただきたいと思います。
久保田委員	民間企業ではないので、いくら売り上げたとかということとは違うと思うのですが、「こういう目標の中でやっている」ということであれば、具体的なやり方とか結果の反省とか見えてくるといいと思うので、ぜひそうしていただきたいと思います。
井上委員長	ほかに何かありますか。
内田委員	市民総合大学のところで、前にも言ったかもしれませんが、延べ人数ではなくて参加者数の方がいいかと。やはり述べ人数だと本当にどのぐらいの人が受けたのか実態が把握しにくいと思いますので。今すぐわからないのであれば後でもかまわないので、どれぐらいの方が参加したのかという数字をお示しいただければと思います。 先ほどの久保田委員のお話ではありませんが、そうすることで、どのぐらい市民総合大学が徐々に伸びているのか、それとも横ばいなのか。本当は年齢層とかもあるとよりわかりやすいのですが、やはり今後は人材の育成という意味では、現役世代の方がより受けやすいようなものがあるといいと思っていますので、そういう出し方をやっていただければと思います。
大澤課長補佐	先ほどご説明させていただきましたが、令和6年度より本庄早稲田国際リサーチパーク（以下「リサーチパーク」という。）に委託をしている関係で、私どもの方で申込みを直接受けておりません。そのため、数値をリサーチパークに出していただく必要がございますので、少しお時間をいただきたいと思います。 どの機会になるかわかりませんが、先ほどの内田委員からのご質問に対し、推移をお出しすればよろしいでしょうか。（了承を得る） 先ほどご説明させていただいたように、令和4年度からコースの編成が変わりましたので、比較をするとすれば4年度以降とになりますがよろしいでしょうか。（了承を得る） 4年度、5年度、6年度の数字を資料としてお渡ししたいと思いますので、少しお時間をください。よろしく願いいたします。
久保田委員	委託をされているという話ですけど、どういう委託なのですか。
大澤課長補佐	市民総合大学の企画運営自体をリサーチパークにお願いをしております。

	令和5年度までは、生涯学習課で直接運営をしていたのですが、リサーチパークは早稲田大学と関係がございますので、やはり学術機関の方、いろいろな大学の先生など、我々では呼べないような講師の先生方を呼んでいただいています。そういったところに重きを置かせていただいて委託をしている状況でございます。
久保田委員	話が重複して申し訳ないのですが、そういう場を作って、どういう演題で先生を呼んできてやるかというテーマを設定するということですが、「どうやってやるか」「何人集めるか」という話とセットだと思うのですよね。どうやって告知するかとかもそうですけど。 それをどこまでセットで委託をされていて、数字に責任を持つのですかということですか。「100人集めるっていったよね」という話なのか、「5人でもやればいい」という話なのか、極端ですが分かりやすく言うとそういうことです。 最近、いろいろなもの見るようにしていますが、今日お話があったことのほとんどに気がついていないです。ホームページを探して見にいかない。自治会長は回覧も手配しないといけないので、回す責任上全部見ているのですが、なかなか気が付かない。どこまで告知されているのかということもあります。 そのためやはり目標がはっきりして、それとセットだと思います。常にその計画があって、実績があって、委託もお金がかかりますので、見合ったコストパフォーマンスができて成果が上がっているのか、検証する必要があるのではと思います。
大澤課長補佐	全体的な内容になりますが、我々がやっていた時と比べて有名といいますか我々ではなかなか呼べないような方に来ていただけているので、そこが大きく違うと考えています。
久保田委員	そのことはわかりますよ。パワーとか利用して、市ではできないようなテーマとか人を呼んでくる、それはそれでいいのです。一方でせっかくそこまでやっているのですから、その成果をセットで見せないと。
大澤課長補佐	そのことについては、先ほど内田委員から資料のお話が出ましたので、その資料で見えてくるかなと思います。
田邊委員	今の件ですけど、私が聞くところによると、いつも結構いっぱいになってしまっていて入れない方とかいるようなので、定員が何人で、何人応募があったとかそこまで数値が出ないと、本当の人氣度もわからないと思います。あと1つ前から気になっていることは、1年分の受講申込みを3月で全部締め切ってしまうじゃないですか。そうすると、そこに気付かなかった人はどれに

	も行けなくなってしまうから、当日参加 OK とか定員を増やすとかどうでしょうか。「よかった」という話を聞いても、申込みが 1 年に 1 回なので。「また来年」と思っても申込みが 3 月だから、そこをもう少しなんとかないかなとは思いますが。
大澤課長補佐	「申込みが 3 月だとは知らなくて」というお話は聞いています。私は 4 月にこちらへ異動してきましたが、「当日来て席が空いてれば座らせてもらえないのか」という話も聞きますので、委託先とも協議させていただき、少しでも多くの方にご参加いただける方法を考えて参ります。
大塚委員	今の件に関連するのですが、3 月に締め切ってしまうのは早いかと。3 月に気がついてみても、1 年間の計画ってその時点でなかなか立てられないですよ。私はどちらかというとその間際まで待つタイプなので、そうすると締め切りが過ぎてしまう。だからさっき意見が出たように、締め切りを 3 月ではなくて、講座ごとに「最終的にここまでに人数をまとめれば運営できる」というところまで伸ばしてもらいたい。しかも申込みは、インターネットとか使って、講座に空きがあれば随時申し込みできるようにする。いっぱいになったら、「定員に達したからもう申込みませんよ」という形にしてみようと、たくさんの方が出られるのではないかと。前からずっとこの意見が出ていると思うのですが、とにかく締め切りが 1 回で早すぎる。 空いている講座ごとに、「空いているからぜひ申込んでください」とインターネット申込みができるようにしておいて、満員になったときは、「いっぱいになったので申込できません」という表示にしていただければいいので。忙しい人が多い中で、「こういう勉強がしたいな」と思ったときに、1 年に 1 回で締め切られてしまうのはちょっとどうかなと。 市民総合大学のこの話は前から出ていると思うので、それがずっと変わっていないです。今の時代ですから、パソコンやスマートフォンもあるので、少しでも締め切りを延ばして、たくさんの方が出られるようにしてもらいたいなと思います。
久保田委員	さっき申し上げた、いろんなことをやっていて、人気があるものもないものもあると思います。人気のあるものを増やせばいいのですよ。人気があるなら、2 回や 3 回やってもいいよねという話だと思います。逆にないものはやめればいいという話だと思うのですが。そうやってメリハリをつけていかないと、「10 も 20 もやりました」ということではなくて、中身のしっかりしたものをきちっと定着させることも戦略としてあるのだと思います。そういう意味で評価が必要だと思うのですよね。「これは面白い」というときは結構いっぱいになってしまっていて、一方で「普段はがらがらです」というこ

	とがあると思うので。
大澤課長補佐	市民総合大学では、普段からアンケートを集計しております。出席率や申込率も集計しています。当然中には抽選になってしまうぐらい人気の講座があります。残念ながら抽選に外れてしまう方も実際にいらっしゃいます。そういう講座は、久保田委員のお話ですと、1回ではなくて2回にすればいいのではないかとということだと理解しているのですが、そういうことでよろしいでしょうか。
久保田委員	はいそうです。
大澤課長補佐	ちょうどこれから来年の市民総合大学の講座に関するリサーチパークとの打合せがございますので、そういったご意見を参考にさせていただきます。
大塚委員	公民館講座の開催というところで、各公民館いろいろな特徴を出して、高齢者学級が得意なところはそこを中心に、婦人学級が得意なところはそこを中心に講座をやっていますよね。「この高齢者の講座に出たいけど、その講座はこの公民館ではやっていないから、遠いところにあるあの公民館に行かないと参加できない」ということがあります。非常勤の館長さんが1人でやっているから大変だとは思いますが、公民館の特徴を出すのはいいのですが、各公民館で同じ程度の講座ができるように考えていただきたいです。「非常勤の館長さんが1人でやっているから無理」という話ならそれまでですけど、事業をやると人もお金もかかるわけですが、少し考えていただければと思います。
松澤補佐	公民館講座の関係ですので、私からお答えさせていただきます。 今大塚委員からお話をいただいたように、各公民館がそれぞれいろいろな講座をやっております。館長の方でもいろいろ企画をしていて、本庄公民館でも職員がいろいろな講座を計画しています。昨年好評だったので1講座2講座増やしたものとか、人数が少ないものとかいろいろなケースがあります。 ただ、やはり定着させていく上では、多少人数が少なかった講座でも興味を持って来ていただく方もいらっしゃるなので、そこも活かさなくてはいけないということがございます。毎月公民館長との会議を開いておりますので、会議の中で諮って今後の事業を計画する上で活かしていければと考えております。また何かございましたら、アドバイスをいただければと思っております。
井上委員長	他にはありませんか。

	(意見なし) それでは、意見がないものと認め、質疑を終結いたします。 続きまして、(2) 令和7年度北部地区社会教育関係委員・職員研修会について事務局より説明をお願いいたします。
大澤課長補佐	(議題2 令和7年度北部地区社会教育関係委員・職員研修会について、事務局より説明)
井上委員長	事務局より説明がございましたが、ご意見等はございませんか。
久保田委員	講師が話しているところをオンラインで見るとのことですか。参加者が自分のパソコンで見るとのことではないですね。
大澤課長補佐	はいそうです。本庄公民館の会議室の正面に大きなスクリーンを用意しまして、皆さんでそれを一斉に見ていただくということです。オンラインで会話ができるような設定をさせていただきますので、協議の後の全体発表会では、各自治体が発表し合うというような予定になっております。
井上委員長	他にはありませんか。 (意見なし) それでは、意見がないものと認め、質疑を終結いたします。 これで、本会議の議事は全て終了いたしました。大変、貴重なご意見ありがとうございました。それでは、議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
松澤課長補佐	井上委員長、ありがとうございました。 それでは、次第6のその他といたしまして、報告がございますので、事務局よりご説明いたします。
大澤課長補佐	その他として、2点ご連絡いたします。1点目は、児玉郡市社会教育委員連合会についてです。12ページの資料4をご覧ください。 児玉郡市社会教育委員連合会は、1市3町の社会教育委員で構成されております。本年8月に開催された総会において、本市の井上会長が連合会の会長となりましたことをご報告させていただきます。また、今後の予定といたしまして、研修会がございます。郡市の役員会において詳細が決まりましたら、皆さまにご案内通知をお送りしますので、ぜひ、ご参加ください。なお、参考までに、これまでの研修会実績を記載しておりますので、ご覧ください。 2点目は、委員報酬についてです。本日の会議に参加された皆さま宛に、後日、報酬の支払明細をお送りします。お手元に届きましたらご確認ください。

	い。 事務局からは以上です。
松澤課長補佐	ただいまご説明いたしました内容について、ご質問等がございますか。
内田委員	皆さんが多分思っていることをお話させていただきます。資料4の一番上にあります8月18日に行われた郡市社会教育委員連絡会総会の件ですが、私のところに手紙が来たのは25日消印の封筒で、もちろん18日を過ぎているということですね。メールは8月14日に届きましたが、そうなるとなかなか出席は難しいと思います。いろいろ事情があるとは思いますが、なるべく早めに期日を過ぎて到着するということがないようにしていただきたいです。
大澤課長補佐	このたびは総会のご連絡が遅くなり申し訳ございませんでした。メールや電話で取り急ぎ皆様にご連絡を差し上げたところではありましたが、通知が期日を過ぎてから届いたということで、今後は、郵便事情が大変遅くなっておりますことも考慮して通知をお送りしたいと思います。
都丸委員	1ついいですか。今、郵便も遅いですけど、値段も高いです。だから、できればメールで通知する。他のところもそういうふうになっていますよね。それを徹底していかないと、今、本当に郵便はあてにならないし高いので、そのあたりを考慮していただきたいと思います。
久保田委員	FAXとかやめていただきたいですね。返信用の封筒があればまだいいですけど。メールが一番いいですね。
松澤課長補佐	ほかにごございますか。 (意見なし) ないようですので、閉会のことばを芦澤副委員長お願いいたします。
芦澤副委員長	お忙しい中おいでいただいて、皆さんとこういってお話ができることは非常に貴重なと思います。今日の話の内容をまとめてみますと、PDCAですかね、チェックとアクションがやはり大切なのかなと思いました。こういうところを次回に活かして、より良い活動になっていければなと思いますので、皆さんご協力をお願いします。本日はありがとうございました。